

2010年度学校法人天使学園・天使大学 事業報告および会計収支決算書  
(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

理事長 近藤潤子  
学長 丸山知子

## I. 法人の概要

### 1. 建学の精神

学校法人天使学園・天使大学は、キリスト教の精神に基づくカトリック大学として「愛をとおして真理へ」を建学の精神にしています。この精神は、次の3つの柱から成り立っています。

第1に、自分自身をみつめる内省性です。キリスト教の伝統では、他者との出会いをとおして、自分の思いや行いを自分自身で振り返り、自分に気付くことを大切にしています。

他者への奉仕を実践するためには、まず自分のありのままの姿に気付くことが必要だからです。

第2に、キリスト教の価値観に基づく研究と学習です。現代社会には多様な価値観があり、それに応じて人々の生き方も多様化しています。本学においては、他者に仕え、他者のために歩んだキリストの生き方を理想とし、真理の探究につとめ、その学習の場を提供しています。

第3に、世界の人々と共に歩もうとする人間愛です。国や民族（人種）の違いを超えた人間愛はキリスト教の特徴の一つです。世界の人々を友とする開かれた心を養い、国際社会に貢献する人材の育成につとめています。これらの3つの柱は、互いに深く関連しあって、「愛をとおして真理へ」という本学の「建学の精神」を形成しています。この理念を基礎として、キャンパスの内外にわたる正課教育、各種大学行事および学生の課外活動等をとおして具現化するように取り組んでいます。

### 2. 学校法人の沿革

- 1947（昭和22年）札幌天使女子厚生専門学校設立
- 1949（昭和24年）天使女子栄養学院設立
- 1951（昭和26年）日本で最初の看護系短期大学となる天使厚生短期大学厚生科を開設
- 1952（昭和27年）天使厚生短期大学栄養科を開設  
天使助産婦学校設置
- 1954（昭和29年）天使女子短期大学に名称変更
- 1965（昭和40年）天使女子短期大学に専攻科厚生専攻を開設
- 1969（昭和44年）厚生科を衛生看護学科に改称  
栄養科を栄養学科に改称  
専攻科厚生専攻を専攻科衛生看護学専攻に改称
- 1971（昭和46年）栄養学科を食物栄養学科に改称
- 1987（昭和62年）創立40周年記念としてチャペルを建堂
- 1996（平成8年）創立50年記念式典
- 2000（平成12年）天使女子短期大学を改組転換し、天使大学看護栄養学部（看護学科  
栄養学科）を開設
- 2004（平成16年）大学院助産研究科助産専攻（専門職学位課程）を開設
- 2006（平成18年）大学院看護栄養学研究科（看護学専攻、栄養管理学専攻）を開設
- 2008（平成20年）大学院看護栄養学研究科栄養管理学専攻に博士後期課程を開設

大学院助産研究科助産専攻を助産基礎分野、助産教育分野の2分野制に改組

3. 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等	摘要
天使大学	2000年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護栄養学部（看護学科、栄養学科）</li> <li>大学院看護栄養学研究科看護学専攻修士課程、栄養管理学専攻博士前期・後期課程</li> <li>大学院助産研究科助産専攻</li> </ul>	特になし

4. 学校・学部・学科・研究科等の学生数の状況（2010年5月1日現在）

（単位：人）

学部・学科名		入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
看護栄養学部	看護学科	87	334	366	
	栄養学科	85	350	360	収容定員には編入定員10人含む
小計		172	684	726	

研究科・課程名		入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
看護栄養学研究科	看護学専攻修士課程	8	16	3	
	栄養管理学博士前期課程	3	6	5	
	栄養管理学博士後期課程	2	6	4	
助産研究科	助産専攻（専門職学位課程）	40	80	55	
小計		53	108	67	

5. 役員の概要（2010年5月1日現在）

定員数 理事 9名、監事 2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	近藤 潤子	常勤	1996年4月 理事就任 2010年4月 理事長就任
理事	丸山 知子	常勤	2010年4月 理事就任（天使大学 学長）
理事	常松 潔	非常勤	2007年8月 理事就任（理事長職務代理者、特定医療法人とこはる理事長）
理事	曾我 文子	非常勤	2004年4月 理事就任
理事	永井 和夫	非常勤	2004年4月 理事就任
理事	菅原 邦子	常勤	2010年3月 理事就任（天使大学看護学科教授）
理事	地主 敏夫	非常勤	1997年4月 理事就任（カトリック教会司教）
理事	菊地 弘明	非常勤	1998年1月 理事就任（財団法人ノーマライゼーション住宅財団理事）
理事	大津 忠行	非常勤	2009年2月 理事就任
監事	小片 基	非常勤	2005年1月 監事就任（緑光会野宮病院顧問医）
監事	伊藤 好孝	非常勤	2007年4月 監事就任

## 6. 評議員の概要（2010年5月1日現在）

定員数 19名

氏名	主な現職等
丸山 知子	天使大学学長、天使学園理事
菅原 邦子	天使大学看護学科教授、天使学園理事
荒川 義人	天使大学栄養学科教授
久保 則雄	天使学園事務局長
曾我 文子	天使学園理事
城 直	天使大学同窓会会長
野原 純子	天使病院栄養科科长
近藤 潤子	天使学園理事長
地主 敏夫	カトリック教会司教、天使学園理事
菊地 弘明	財団法人ノーマライゼーション住宅財団理事、天使学園理事
大津 忠行	天使学園理事
永井 和夫	天使学園理事
常松 潔	特定医療法人とこはる理事長、天使学園理事
久保寺 緑郎	カトリック札幌司教区カトリック北1条教会司祭
金子 志和子	無職
沢 宣彦	社団法人北海道美術館協力会副会長
水戸部マリ子	無職
辻崎 正幸	天使病院院長
小原 まり子	医療法人財団済美会昭和病院看護部長

## 7. 教職員の概要（2010年5月1日現在）

## (1) 教員

	教授	准教授	講師	助教	助手	計	兼務	合計
看護栄養学部	20	16	11	8	5	60	145	205
助産研究科	8	4	3	0	0	15	25	40
計	28	20	14	8	5	75	170	245

## (2) 職員

本務	兼務	合計
28	1	29

## II. 事業の概要

## 1. 法人関係

## (1) 理事会および評議員会の開催状況

	開催回数
理事会	9回
評議員会	4回

## (2) 事業報告

## 1) 学校法人天使学園寄附行為の一部改正

寄附行為等改訂委員会を設置し、2004年度の私立学校法等の改正等を含め全般的な見直しを行い、文部科学省に申請し認可を受けました。

## 2) 担当理事制の実施

今年度より担当理事制を実施し、宗務担当、総務担当、学務担当、財務担当の理事を置きました。

### 3) 学園規程等の整備

学校法人天使学園寄附行為の一部改正に伴い、規程等検討委員会を設置し、「学校法人天使学園嘱託教員に関する規程の一部改正」、「学校法人天使学園就業規則の一部改正」、「学校法人天使学園特任教員に関する規程の制定」、「学校法人天使学園将来構想委員会規程の一部改正」、「学校法人天使学園懲戒委員会規程の一部改正」を理事会に提案し、承認されました。

### 4) 学園報「天使大学通信」の発行

翌月の学園のスケジュール、学園全体の会議録、人事異動、諸報、在学生の推移、入学試験関係の情報を網羅した「天使大学通信」を毎月1日付で発行し、学園の情報公開に務めました。

## 2. 大学関係

### (1) 教育関係

建学の精神に基づいた学部および大学院の正課・正課外カリキュラムにおいて、例年どおり実施しているものは省略しています。

#### 1) 教養教育科

##### ①初年次教育の推進

次年度の入学予定者を対象に入学前指導を行い、入学までの期間を有効に利用して基礎学力の増進を図る観点から、看護・栄養両学科の専門科目履修の基礎となる「化学」、「生物」の2科目の課題教材を送付し、自主学習を促しました。

#### 2) 看護学科

##### ①2012年度開講予定のカリキュラムの検討

改正された保健師助産師看護師法等の施行に伴い、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正により看護師教育学士課程の充実および保健師教育課程の大学院化を決定し、2011年9月申請を目標にカリキュラムの内容等について継続して検討を行いました。

##### ②学生支援教員の配置

従来、クラス担任制を行ってきっていたが、2010年度より学生の生活、学習支援を少人数単位で行うこととしました。1・2年次については、学生10名程度に1名の支援教員を配置し、3・4年次には4名の支援教員を配置しました。

##### ③学習支援プロジェクトの結成

看護師・保健師国家試験に向けての学習支援については、学生の生活、学習支援を少人数制で行うとともに、学科の学習支援についての課題収集と問題解決のための検討委員会として学習支援プロジェクトを結成しました。

#### 3) 栄養学科

##### ①専門的な職業人養成に対応した実務経験豊かな講師陣による実践演習の実施

前年度に続き、臨地実習に出る直前の3年次を対象に医療面接などの臨床技能を模擬患者(simulated patient: SP)を導入して試験を行う客観的臨床能力試験 Objective Structured Clinical Examination: OSCE(オスキー)について、学外共同研究者・学科長との連携の下、2010年度は選択科目(カウンセリング演習)の中で展開し、患者から信頼される専門的な職業人の育成に取り組みました。

## ②札幌市東区保健福祉部との連携によるイベントを活用した健康教育の実施

4年次（地域栄養活動演習を履修した13名）が、本学大学祭（天使祭）のプログラムの1つである札幌市福祉部協力の「健康まつり」において、来場した地域住民に対して健康教育を実施し、実践力の養成を図りました。

## 4) 大学院看護栄養学研究科

### ①カリキュラム改訂の検討

看護栄養学研究科の特色を活かしたカリキュラム内容および過密カリキュラム解消のために2011年度施行に向けたカリキュラム改訂の検討を行いました。

### ②長期履修制度などの導入検討

学生が職業を有している等の理由により標準の修業年限を超えて、計画的に教育課程を履修し修了できる長期履修制度および優れた業績をあげた学生については修業年限を短縮できる制度を2011年度より導入できるように検討を行いました。

### ③メタボリックシンドローム予防のための健康栄養指導スキルアップ実習プログラムの実施

本プログラムは、2008年度より文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」委託事業に選定され実施しています。本プログラムは、内蔵脂肪型肥満に起因するメタボリックシンドロームを予防するために、北海道栄養士会と連携しながら、現職の管理栄養士13名を対象にして、40時間にわたって地域特性を考慮したエビデンスに基づいた体系的・効果的な健康栄養指導に必要な実践的能力を修得する研修プログラムを展開し、高度な健診・保健指導の能力の修得を行いました。

## 5) 大学院助産研究科

### ①充実した実習の実施

助産基礎分野1年次の21週間・2年次の10週間、助産教育分野1年次の16週間に及ぶ病院・助産所実習により実践力を養う教育展開を図りました。

### ②国際的活動にも対応したカリキュラム

選択科目の中に「国際助産学実習」を配置し、マダカスカル共和国において社会・経済・文化の異なる国の母子ケアを学び助産師としての国際的に活動ができるように教育展開を図りました。

## 6) その他

### ①学生生活、健康に関する学生への啓発教育および支援活動

- ・アッセンブリーアワーの時間を利用した薬物乱用防止、カルト、喫煙防止活動に取り組みました。
- ・「ぴあの会」は学内、天使祭などで保健相談室の相談員との協力で健康企画などの活動を行いました。

### ②国際交流活動の推進

- ・海外研修旅行（期間：3月9日～3月28日、研修地：アメリカ・ワシントン州シアトル近郊とカナダ・バンクーバー、研修内容：語学研修・病院、施設等の見学、参加者数：12名）を実施しました。
- ・講師に本学卒業生を招いて、国際協力（ハイチ地震での緊急援助隊員としての活動報告）に関する講演会を実施しました。
- ・フィリピン支援NGOハロハロの会が主催するフィリピン体験学習ツアーPET30（期間：3月5日～3月15日、研修地：フィリピン セブ島、研修内容：他大学の学生とともにフィリピンの実情把握等を行う）に本学の学生10名が参加しました。

(2) 研究関係

1) 文部科学省の科学研究費補助金（代表者）の採択状況

	氏名	研究課題名	区分
1	看護学科教授 荻津智子	身近な人と死別した子どもへのグリーフケアとその評価	基盤研究C 新規採択
2	看護学科准教授 長谷川真澄	急性期病院における高齢者せん妄ケアシステムの構築	基盤研究C 新規採択
3	看護学科講師 島明子	中高年女性の「健康統御力」の形成過程とソーシャルキャピタルの影響に関する研究	基盤研究C 新規採択
4	看護学科講師 草薙美穂	若年の母親への育児支援－母子相互作用促進のための縦断的介入研究－	基盤研究C 新規採択
5	栄養学科教授 斉藤昌之	ヒト褐色脂肪：寒冷刺激による活性化とエネルギー消費との関係	基盤研究C 新規採択
6	栄養学科准教授 佐藤香苗	透析患者のQOL向上を実現するアクティブライフスタイル教育プログラムの開発と運用	基盤研究C 新規採択
7	看護教育科准教授 堀井泰明	ケアリングの臨床哲学的基礎付けから出発する看護倫理学の構築	基盤研究C 継続採択

2) 文部科学省：「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

	氏名	研究課題名
1	栄養学科教授 斉藤昌之	メタボリックシンドローム予防のための健康栄養指導スキルアップ実習プログラム

3) 現職の栄養教諭との協働により、実践的・体系的な食の指導の展開を目指した研究

石狩市において、食指導の重要なツールである学校給食の食べ残しについて、量・質の両面から評価を続けてきているが、2010年度はこれまでに収集した児童・生徒の体力、体格、身体活動などの健康指標との関連性分析結果から、給食を題材としたICT教材の製作ならびに全国画一的なプログラムとは異なる石狩市固有のセミ・オーダーメイドの食育プログラムの開発を行いました。

(3) 社会貢献

1) 受託研究

	氏名	研究課題名	委託先
1	栄養学科教授 斉藤昌之	葛の花エキスの抗肥満作用に関する研究への助言及び指導	(株)東洋新薬
2	栄養学科教授 伊藤和枝	血圧改善食品に関する研究	花玉(株)ヘルスケア食品研究所
3	栄養学科教授 斉藤昌之	ヒト褐色脂肪活性化への新しい刺激方法の探索	パナソニック電工(株)先行技術開発研究所
4	栄養学科准教授 山口敦子	すいかテクスチャーの機器分析による評価法の開発に係る食味官能検査業務	北海道原子力環境センター
5	栄養学科教授 斉藤昌之	マニゲット配合製剤がヒト褐色脂肪細胞におけるエネルギー代謝機能に及ぼす影響についての評価試験	(株)カネボウ化粧品
6	栄養学科教授 斉藤昌之	ヒト褐色細胞に対する辛味刺激の効果に関する研究	味の素(株)健康ケア開発企画部
7	栄養学科教授 森谷 紜	アサヒカルピスビバレッジメタボ予防改善プログラム開発と検証	アサヒカルピスビバレッジ(株)北海道・東北支社
8	栄養学科教授 荒川義人	プロテオグリカン入り飲むヨーグルト官能試験	(財)釧路根室圏産業技術振興センター

## 2) 公開講座の実施

第11回の天使大学看護栄養学部公開講座が、「いのちみつめて－誰もが暮らしやすい社会とは－」を全体テーマとして次のとおり開催されました。

回	日 程	題 目	講 師
1	8月25日(水)	大人のAD/HDの理解 暮らしのノーマライゼーション	北海道大学教授 田中康夫氏
2	9月1日(水)	女性の健康と暮らし	本学看護学科教授 丸山知子
3	9月8日(水)	生き物から学ぶ思いやりの心	元円山動物園長 長尾章郎氏
4	9月15日(水)	サプリメントの正しい理解について	本学栄養学科教授 荒川義人
5	9月22日(水)	暮らしと信仰	カトリック札幌教区管理者 菊地功司教

## 3) 「天使健康栄養クリニック」の実施

天使健康栄養クリニックは、2006年度の開始以来地域住民35名を対象に実施し、臨床栄養学的ならびに健康行動科学的視点からの研究と、大学院看護栄養学研究科栄養管理学専攻博士前期課程の教育に活用しました。これらの成果は関係学会や学術雑誌に発表されたのみならず、修士論文、博士学位論文としてまとめられました。

## 4) 「子どもの食育教室」の開催

大学院看護栄養学研究科看護学専攻および栄養管理学専攻の教員と大学院生による「子どもの食育教室」を小学生対象に行いました。さらに、2010年度初めての取り組みとして、就学前児童と保護者を対象にした食育教室を幼稚園と保育園を会場として行いました。

## 5) 北海道健康づくり財団との連携

実物の料理を写真撮影し、それを「どさんこ食事バランスガイド実物大料理カード」として教材化し、市町村等に配付する事業への協力を行いました。

## 6) 札幌市保健所との連携

栄養学科学生(1～3年次)の希望者43名が札幌市食育学生ボランティアに登録し、札幌市の食育事業である「ヘルシー弁当」のメニュー開発に参加しました。

## 7) 札幌市東区保健福祉部・東区健康づくり連絡協議会との連携

看護学科・栄養学科両学科学生が「東区健康づくりフェスティバル」ならびに栄養学科学生が「東区食育フェア」の運営に協力しました。

## 8) コープさっぽろとの連携

食育の推進と食の信頼性の向上に貢献することを目的に、産学連携プロジェクトとしてコープさっぽろと連携を行っています。連携内容は、料理レシピの共同開発、栄養価表示に関する監修、食品表示検定試験の協力で、栄養学科の多数の学生および教員が協力を行っています。

## (4) 自己点検評価活動

各学科・科および事務局で自己点検評価活動に取り組みました。取り組んだ結果は、自己点検評価委員会が中心となり、2010年度の自己点検・評価報告書にまとめられ2011年度に認証評価機関である財団法人大学基準協会の大学評価に申請し、評価を受ける予定になっています。また、自己点検評価報告をまとめ、毎年度発行・公表している年報も同時に作成し、冊子およびホームページで公開することとしている。

## (5) FD・SD活動

### 1) 学部FD・SD合同研修会

2011年3月3日(木)に教職員72名が参加したFD・SD合同研修会を実施しました。今回の研修会は「学生への少人数制支援の現状と今後の課題」がテーマで、2010年度から実施している少人数制学生支援を教職員が共通理解し、2011年度に向けて学部共通の生活支援および学修支援方法の具体案の検討を行う内容で実施されました。

### 2) 助産研究科FD研修会

#### ・第1回FD研修会

2011年3月17日(木)に元日本赤十字看護大学大学院教授 村上 睦子氏を招聘し、「助産師学生が実習に興味・関心・意欲をもつ実習指導とは」をテーマに、研究科教員、実習指導教員、実習施設の臨床指導者を含む21名の参加により、研修会を実施しました。

#### ・第2回FD研修会

2011年3月23日(木)に「2010年度授業および実習の評価」をテーマとして、研究科教員8名により担当実習科目のうち1科目を選択し、授業目標、授業の進め方、授業評価および次年度に向けての方策を検討する研修会を実施しました。

### 3) 職員研修会

2010年9月1日(水)に次年度からバージョンアップされる事務ソフト「GAKUENシステム」の概要説明および職員が参加した各研修会の伝達研修を行い理解を深めました。

## (6) 教職員修養会

2010年12月8日(水)に教職員を対象として、「建学の精神」の理解を深めるために、教職員修養会を行いました。講師に上智大学神学部准教授 増田 祐志氏を招聘し、「上智大学として理念、建学の精神をどのように学生に伝えているか」について講演をいただきました。

## (7) 入学志願者数の確保

学部については、18歳人口の減少および国公立大学への志願志向が続く中で2009年度には看護学科の大幅な志願者数の増があり前年度比23%増となりましたが、2010年度については前年度の志願者増に対する警戒感、志願者の更なる国公立大学志願志向および受験校数の削減等により、両学科とも志願者数が減少し前年度比16%減という結果となりました。入学者数については、当初予定した入学者数を充分確保しています。

大学院については、看護栄養学研究科看護学専攻および助産研究科助産専攻は、前年度より志願者数の増がありましたが、看護栄養学研究科栄養管理学専攻は前年度と同様の志願者数となりました。入学者数については、全ての専攻において定員未充足となっています。

具体的な志願者数および入学者数は次表のとおりです。

	看護学科		栄養学科		大学院 看護 栄養学研究科 (修士課程)	大学院 看護 栄養学研究科 (博士課程)	大学院 助産研究科
	1年次	3年次編入	1年次	3年次編入			
志願者数	548 (661)	0 (0)	227 (258)	8 (1)	5 (2)	1 (0)	39 (35)
入学者数	93 (90)	0 (0)	90 (85)	5 (1)	5 (2)	1 (0)	28 (27)

### (8) 奨学制度の取り組み

本学では、天使大学後援会の支援を得て、従前から貸与奨学金制度を設けて学生の経済的支援を行っていますが、さらに奨学制度を充実させるために、札幌天使女子厚生専門学校初代校長シスター川原ユキエ先生のご遺族からの寄付を契機として、2005年度に設置した給付奨学金制度に基づき、2010年度は学部学生10名を奨学生として採用しました。

### (9) 学生の就職状況および国家試験合格状況

#### 1) 2011年3月31日現在の就職状況

	卒業者数	就職希望者数	就職者数	内定率(%)	進学者数
看護学科	84	73	72	98.6	10
栄養学科	88	82	66	80.5	5

#### 2) 2010年度国家試験合格者数等の状況

	受験者数	合格者数	合格率(%)	
			本学	全国平均
看護師	84	83	98.8	91.8
保健師	84	78	92.9	86.3
助産師	21	21	100.0	97.2
管理栄養士	86	65	75.6	82.1

※ 管理栄養士の国家試験の合格者数等については、東日本大震災の関係で追試験が予定されていますので、2011年5月9日現在の数字です。

### (10) 財務に関する情報公開

事業報告ならびに財務諸表等の財務情報をより積極的に公開することに努め、大学のホームページ (<http://www.tenshi.ac.jp>) へそれらの情報を掲載しました。

## III. 施設等の状況

土地は、札幌市東区北および東区中沼グラウンドで面積の増減はありません。また、建物についても土地同様、札幌市東区北の校舎および東区中沼グラウンドの更衣室等で面積の増減はありません。主な施設等の状況は次のとおりです。

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿価額	摘要
北海道札幌市東区北	校地	12,390㎡	135,842千円	135,842千円	
	校舎8棟	14,045㎡	2,497,698千円	1,563,017千円	
北海道札幌市東区中沼	運動場	18,000㎡	302,240千円	302,240千円	
	更衣室	79㎡	11,941千円	2,128千円	

## IV. 財務の概要

### 1. 決算の概要

#### (1) 収支計算書の状況

##### 1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度における法人全体の教育研究活動等諸活動に対する資金の収支を明らかにするものです。

収入に関しては、手数料収入が2010年度補正予算比（以下「予算比」という）3,365千円の増、補助金収入が予算比3,099千円の増となりました。前受金収入が予算比2,415千円の減、資金収入調整勘定が期末未収入金の減から予算比18,472千円の増となりました。

収入の計は予算比9,634千円減の33億91,643千円となりました。

また、支出に関しては、人件費支出が予算比6,728千円の減、教育研究経費支出が予算

比21,007千円の減、管理経費支出が予算比10,137千円の減、設備関係支出が予算比7,387千円の減となりました。また、資産運用支出は、従来の退職給与引当・減価償却引当特定資産に加え、施設設備引当預金・第2号基本金引当特定資産への繰入れにより7億49,000千円となりました。支出の計は予算比9,634千円減の33億91,643千円となりました。

#### 【収入の部：科目の概要】

- ①「学生生徒等納付金収入」は、入学金・授業料・実験実習費等で、総額11億8,884千円となり、予算比859千円の増でした。納付金を納入した学生数は大学院看護栄養学研究科看護学専攻3名、同研究科栄養管理学専攻9名、大学院助産研究科55名、看護学科365名、栄養学科359名、科目等履修生9名でした。
- ②「手数料収入」は、入学検定料・試験料・証明手数料等の収入で、総額24,665千円となり、予算比3,365千円の増でした。主な収入は入学検定料で835名分となりました。
- ③「寄付金収入」は、天使大学後援会からの寄付金を含めた一般寄付金収入で、総額19,670千円となり、予算比420千円の増でした。
- ④「補助金収入」については、未来経営戦略推進経費等の特別補助63,171千円を含め、2億14,173千円となり、予算比3,099千円の増でした。
- ⑤「資産運用収入」は、受取利息・施設設備利用料等の収入で、総額11,436千円となり予算比686千円の増でした。
- ⑥「事業収入」は、受託事業収入・公開講座等の収入で、総額14,077千円となり、予算比797千円の増でした。
- ⑦「雑収入」は、私立大学退職金財団交付金等の収入で、総額36,566千円となり、予算比991千円の増でした。
- ⑧「前受金収入」は、2010年度末に納入された新入生および在学生の納付金で、総額6億8,300千円となり、2,415千円の減でした。
- ⑨「その他の収入」は、施設設備引当特定預金からの繰入収入・前期末未収入金収入・貸与奨学金の回収収入等で、総額1億32,987千円となり、予算比1,031千円の増でした。
- ⑩「資金収入調整勘定」は、2010年度末の未収入金（私立大学退職金財団交付金・社会人学び直し等）および2009年度末前受金（新入生および在学生の納付金）となっています。

#### 【支出の部：科目の概要】

- ①「人件費支出」は、教職員等人件費および退職金で、総額8億89,906千円となり、予算比6,728千円の減でした。教職員等人件費支出は8億56,928千円、退職金支出は32,977千円となりました。
- ②「教育研究経費支出」は、直接的な教育・研究のための経費で、総額2億54,328千円となり、予算比21,007千円の減でした。

主な小科目の概要は次のとおりです。

  - ・『消耗品費支出』は、主に教材用消耗品・印刷用の紙、個人研究費で購入する消耗
  - ・『用品費支出』は、主に価格・耐用年数が備品に至らない器具・機器等で、情報処理室関係の環境復元ソフトおよび大学院関係の統計ソフト等を前倒しで購入したため、総額8,125千円となり、予算比2,958千円の増でした。
  - ・『光熱水費支出』は、主に暖房用のガス、電気、水道等の支出で、総額31,165千円となり、予算比2,456千円の減でした。
  - ・『旅費交通費支出』は、主に実習巡回用の旅費、実習指導教員の交通費、その他学会・研修・会議用の旅費の支出で、学会等研究費に係る旅費の執行額が予算額を大幅に下

回ったため、総額23,100千円となり、予算比6,213千円の減でした。

- ・『修繕費支出』は、3号館雨水配管改修・3-4号館渡り廊下の外壁改修等での支出で、総額7,300千円となり、予算比1,302千円の減でした。
- ・『実習謝礼支出』は、主に学生が実習する施設に対する謝礼の支出で、総額21,193千円となり、予算比4,212千円の減でした。
- ・『課外活動補助費支出』は、主に修養会および学校行事等に係る費用の支出で、修養会を学内で開催する等の変更等があり、総額2,759千円となり、予算比1,818千円の減でした。
- ・『諸会費支出』は、主に教育関係団体、個人研究費の会費等支出で、総額6,138千円となり、予算比3,674千円の増でした。

③「管理経費支出」は、主として学生募集経費、法人の運営経費等で、総額59,167千円となり、予算比10,137千円の減でした。

主な小科目の概要は次のとおりです。

- ・『旅費交通費支出』は、主に学生募集に係る旅費、申請業務に関する旅費及び法人関係の会議・研修のための旅費の支出で、申請業務等がなかったことおよび学生募集関係で旅行行程等を精査したため、総額3,307千円となり、予算比3,619千円の減でした。
- ・『広告費支出』は、主に学生募集関係の雑誌広告、新聞広告、進学相談会への参加費WEB広告等広告宣伝費の支出で、広告媒体の見直しおよび各種企画への参加費の精査により総額17,424千円となり、予算比1,327千円の減でした。
- ・『業務委託費支出』は、主に学生募集に係るホームページの作成および大学案内（入学願書を含む）の発送等の支出で、総額7,683千円となり、予算比2,452千円の減でした。

④「施設関係支出」は、6号館の講義室へのエアコン設置、体育館のファンコンベクターの更新、7号館の実習室への前室設置等工事に係る建物支出であり、総額13,733千円となりました。

⑤「設備関係支出」は、主に教育研究用機器備品および図書に係る支出で、当初予定していた個人研究費での教育研究用機器備品の購入がなかったため、総額26,851千円となり、予算比7,387千円の減でした。

⑥「資産運用支出」は、引当特定資産への繰入支出であり、従来の退職給与引当特定資産・減価償却引当特定資産に加え、施設設備引当特定預金・第2号基本金引当特定資産への繰入れにより、7億49,000千円となりました。

⑦「その他の支出」は、貸与奨学金の貸付金支払支出、前期末未払金支払支出等で、総額27,436千円となりました。

⑧「資金支出調整勘定」は、経常的経費他の期末未払金等で、総額17,495千円となりました。

⑨「予備費」の使用内訳は、施設関係支出117千円、その他の支出561千円の総額678千円となりました。

## 2) 消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度の学生生徒等納付金等の「帰属収入」から基本金組入額を控除した「消費収入」と人件費・教育研究経費等の「消費支出」との均衡状態、内容により経営状況を把握するものです。消費収支計算書は、資金収支計算書の収入の部から学校法人の帰属収入とならない資金の動きだけを示す前受金収入およびその他の収入等は除かれます。また、支出の部から施設関係支出、設備関係支出および資産運用支出等が除かれ

ます。一方、帰属収入として寄付金収入に現物寄付金が計上され、消費支出として退職給与引当金繰入額および減価償却額が計上されます。

帰属収入は予算比10,564千円増の14億33,218千円となり、基本金組入額は予算比8,079千円減の1億66,890千円となりました。その結果、消費収入は予算比18,643千円増の12億66,327千円となりました。また、消費支出は予算比44,593千円減の13億21,162千円となり消費収支差額(=消費収入-消費支出)は54,835千円の支出超過、翌年度繰越消費収入超過額は、2億41,778千円となりました。一方、帰属収支差額(=帰属収入-消費支出)は、1億12,056千円となりました。

**【収入の部：科目の概要（資金収支計算書と違う点のみ説明）】**

- ①「寄付金」は、資金収支計算書の寄付金収入に科学研究費等で購入した備品等の現物寄付金を計上し、総額23,413千円となり、予算比763千円の増でした。
- ②その他の「学生生徒等納付金、手数料、補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入」は、資金収支計算書の収入の部と同額です。
- ③「対帰属収入比率」では、学生生徒等納付金が77.4%、補助金が14.9%となっており両科目で帰属収入全体の92.3%を占めています。
- ④基本金組入額は、第1号基本金（校地、校舎、機器備品、図書等の有形固定資産を自己資金で取得したときに組入れるもの）、第2号基本金（固定資産を将来取得する計画がある時に計画的に組入れるもの）および第4号基本金（学校法人の円滑な運営に必要な運転資金）として組入れられたものであり、総額1億66,890千円となり、予算比8,079千円の減でした。

**【支出の部：科目の概要（資金収支計算書と違う点のみ説明）】**

- ①「人件費」は、総額9億1,346千円となり、予算比7,768千円の減でした。消費収支計算書の退職金は、資金収支計算書の退職金支出から退職給与引当金取崩額を控除していません。また、退職給与引当金繰入額は、38,512千円となっています。
- ②「教育研究経費」は、資金収支計算書に計上された金額に減価償却額1億314千円を加算し、総額3億54,643千円となり、予算比21,092千円の減でした。
- ③「管理経費」は、資金収支計算書に計上された金額に減価償却額3,922千円を加算し総額63,090千円となり、予算比10,214千円の減でした。

**3) 貸借対照表の状況**

貸借対照表は、学校法人の会計年度末の財政状態をあらわした計算書で、資産、負債、基本金および消費収支差額の状況を前年度末の額と対比して示したものです。財務状況や経営分析に使用するものです。

総資産52億92,781千円のうち、固定資産は38億55,120千円、流動資産は14億37,660千円となりました。なお、流動資産のうち現金預金は13億88,714千円で施設設備引当特定預金および第2号基本金引当特定資産へ繰入を行ったため、固定資産「その他固定資産」が6億49,612千円増加しています。

総負債9億34,142千円のうち、固定負債は2億73,090千円、流動負債は6億61,051千円となりました。なお、長期・短期の借入金はなく、固定負債の退職給与引当金および流動負債の前受金が増えたため、負債額が前年度比で31,857千円増加しました。これらの結果、総資産から総負債まで差し引いた正味財産は、43億58,639千円となり、前年比で1億12,055千円増加しました。

## (2) 経年比較

## ①貸借対照表

(単位：千円)

	06年度末	07年度末	08年度末	09年度末	本年度末
固定資産	3,120,323	3,148,624	3,210,756	3,267,500	3,855,120
流動資産	1,533,696	1,673,643	1,787,421	1,881,369	1,437,660
資産の部合計	4,654,019	4,822,268	4,998,178	5,148,869	5,292,781
固定負債	256,773	256,819	259,653	261,645	273,090
流動負債	675,396	669,695	663,600	640,640	661,051
負債の部合計	932,169	926,515	923,254	902,285	934,142
基本金の部合計	3,651,165	3,844,638	3,896,568	3,949,970	4,116,861
消費収支差額の部合計	70,684	51,114	178,355	296,613	241,778
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,654,019	4,822,268	4,998,178	5,148,869	5,292,781

## ②収支計算書

## ア) 資金収支計算書

## ◎収入の部

(単位：千円)

	06年度	07年度	08年度	09年度	本年度
学生生徒等納付金収入	1,168,887	1,159,471	1,166,327	1,142,981	1,108,884
手数料収入	29,285	24,926	24,659	26,243	24,665
寄付金収入	12,463	9,248	9,376	32,108	19,670
補助金収入	235,225	248,789	219,949	212,458	214,173
資産運用収入	5,581	13,078	16,339	14,523	11,436
事業収入	3,928	17,175	12,074	15,062	14,077
雑収入	31,965	33,783	9,083	22,596	36,566
前受金収入	618,460	614,000	610,231	591,170	608,300
その他収入	23,254	186,921	56,630	21,382	132,987
資金収入調整勘定	△ 653,104	△ 663,770	△ 625,791	△ 631,569	△ 628,642
前年度繰越支払資金	1,368,535	1,495,062	1,617,864	1,766,140	1,849,523
収入の部合計	2,844,483	3,138,685	3,116,744	3,213,098	3,391,643

## ◎支出の部

(単位：千円)

	06年度	07年度	08年度	09年度	本年度
人件費支出	922,009	916,613	872,932	876,134	889,906
教育研究経費支出	265,677	265,303	240,749	252,344	254,328
管理経費支出	50,871	57,203	59,061	60,143	59,167
施設関係支出	13,202	179,285	12,787	19,334	13,733
設備関係支出	41,137	42,077	40,086	42,971	26,851
資産運用支出	45,000	48,000	111,000	97,000	749,000
その他支出	27,066	30,399	30,573	31,538	27,436
資金支出調整勘定	△15,544	△18,062	△16,587	△15,893	△17,495
次年度繰越支払資金	1,495,062	1,617,864	1,766,140	1,849,523	1,388,714
支出の部合計	2,844,483	3,138,685	3,116,744	3,213,098	3,391,643

イ) 消費収支計算書

◎消費収入の部

(単位：千円)

	06年度	07年度	08年度	09年度	本年度
学生生徒等納付金	1,168,887	1,159,471	1,166,327	1,142,981	1,108,884
手数料	29,285	24,926	24,659	26,243	24,665
寄付金	18,433	14,651	12,718	37,334	23,413
補助金	235,225	248,789	219,949	212,458	214,173
資産運用収入	5,581	13,078	16,339	14,523	11,436
事業収入	3,928	17,175	12,074	15,062	14,077
雑収入	31,965	33,783	9,083	22,596	36,566
帰属収入合計	1,493,308	1,511,874	1,461,151	1,471,199	1,433,218
基本金組入額合計	△54,348	△193,473	△51,929	△53,401	△166,890
消費収入の部合計	1,438,959	1,318,401	1,409,221	1,417,797	1,266,327

◎消費支出の部

(単位：千円)

	06年度	07年度	08年度	09年度	本年度
人件費	924,929	916,653	875,773	878,132	901,346
教育研究経費	359,137	358,565	342,015	353,410	354,643
管理経費	54,679	61,293	63,369	64,426	63,090
資産処分差額	736	1,460	611	2,621	2,083
徴収不能額	0	0	210	950	0
消費支出の部合計	1,339,481	1,337,971	1,281,980	1,299,540	1,321,162
当年度消費収支超過額	99,477	△19,570	127,241	118,257	△54,835
前年度繰越消費収支超過額	△28,793	70,684	51,114	178,355	296,613
翌年度繰越消費収支超過額	70,684	51,114	178,355	296,613	241,778

②主な財務比率比較

(%)

比率名		算式	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	同系平均
帰属収支 差額比率	△	帰属収入－消費支出	10.3	11.5	12.3	11.7	7.8	△0.08
		帰属収入						
消費収支 比率	▼	消費支出	93.1	101.5	91.0	91.7	104.3	123.5
		消費収入						
学生生徒納 付金比率	～	学生生徒納付金	78.3	76.7	79.8	77.7	77.4	77.4
		帰属収入						
人件費比 率	▼	人件費	61.9	60.6	59.9	59.7	62.9	55.7
		帰属収入						
教育研究 経費比率	△	教育研究経費	24.0	23.7	23.4	24.0	24.7	27.3
		帰属収入						
管理経費 比率	▼	管理経費	3.7	4.1	4.3	4.4	4.4	12.7
		帰属収入						
流動比率	△	流動資産	227.1	249.9	269.4	293.7	217.5	230.6
		流動負債						
負債比率	▼	総負債	25.0	23.8	22.7	21.2	21.4	20.5
		自己資金※1						
自己資金 構成比率	△	自己資金	80.0	80.8	81.5	82.5	82.4	83.0
		総資産※2						
基本金比 率	△	基本金	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	95.8
		基本金要組入額						

※1 自己資金＝基本金＋消費収支差額

※2 総資産＝負債＋基本金＋消費収支差額

△ 高い値の方が良い

▼ 低い値の方が良い

～ どちらともいえない

帰属収支差額比率	:	経営状況をみる比率です。
消費収支比率	:	収入と支出のバランスをみる比率です。
学生生徒等納付金比率	:	収入構成をみる比率です。
人件費比率	:	支出構成の適切性をみる比率です。
教育研究経費比率	:	支出構成の適切性をみる比率です。
管理経費比率	:	支出構成の適切性をみる比率です。
流動比率	:	負債に備える資産の蓄積をみる比率です。
負債比率	:	負債割合をみる比率です。
自己資金構成比率	:	自己資金の充実度をみる比率です。
基本金比率	:	自己資金の充実度をみる比率です。

資 金 収 支 計 算 書

2010年 4月 1日から

2011年 3月31日まで

学校法人天使学園

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,108,025,000	1,108,884,333	△859,333
手数料収入	21,300,000	24,665,600	△3,365,600
寄付金収入	19,250,000	19,670,000	△420,000
補助金収入	211,074,000	214,173,586	△3,099,586
国庫経常費補助金収入	211,000,000	214,105,000	△3,105,000
地方公共団体補助金収入	74,000	68,586	5,414
資産運用収入	10,750,000	11,436,580	△686,580
事業収入	13,280,000	14,077,870	△797,870
雑収入	35,575,000	36,566,935	△991,935
前受金収入	610,715,000	608,300,000	2,415,000
その他の収入	131,956,158	132,987,830	△1,031,672
資金収入調整勘定	△610,170,000	△628,642,574	18,472,574
前年度繰越支払資金	1,849,523,632	1,849,523,632	
収入の部 合計	3,401,278,790	3,391,643,792	9,634,998
支 出 の 部			
人件費支出	896,635,000	889,906,498	6,728,502
教育研究経費支出	275,336,000	254,328,474	21,007,526
管理経費支出	69,305,000	59,167,721	10,137,279
施設関係支出	13,734,000	13,733,350	650
設備関係支出	34,239,000	26,851,942	7,387,058
資産運用支出	749,000,000	749,000,000	0
その他の支出	27,436,746	27,436,466	280
〔予備費〕	4,722,000		4,722,000
資金支出調整勘定	△16,000,000	△17,495,195	1,495,195
次年度繰越支払資金	1,346,871,044	1,388,714,536	△41,843,492
支出の部 合計	3,401,278,790	3,391,643,792	9,634,998

消費収支計算書

2010年4月1日から

2011年3月31日まで

学校法人天使学園

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,108,025,000	1,108,884,333	△859,333
手数料	21,300,000	24,665,600	△3,365,600
寄付金	22,650,000	23,413,210	△763,210
補助金	211,074,000	214,173,586	△3,099,586
国庫経常費補助金	211,000,000	214,105,000	△3,105,000
地方公共団体補助金	74,000	68,586	5,414
資産運用収入	10,750,000	11,436,580	△686,580
事業収入	13,280,000	14,077,870	△797,870
雑収入	35,575,000	36,566,935	△991,935
帰属収入合計	1,422,654,000	1,433,218,114	△10,564,114
基本金組入額合計	△174,970,000	△166,890,635	△8,079,365
消費収入の部合計	1,247,684,000	1,266,327,479	△18,643,479
消費支出の部			
人件費	909,115,000	901,346,001	7,768,999
(内退職給与引当金繰入額)	(39,100,000)	(38,512,823)	(587,177)
教育研究経費	375,736,000	354,643,135	21,092,865
(内減価償却額)	(100,400,000)	(100,314,661)	(85,339)
管理経費	73,305,000	63,090,323	10,214,677
減価償却額	(4,000,000)	(3,922,602)	(77,398)
資産処分差額	2,200,000	2,083,336	116,664
【予備費】	5,400,000		5,400,000
消費支出の部合計	1,365,756,000	1,321,162,795	44,593,205
当年度消費支出超過額	118,072,000	54,835,316	
前年度繰越消費収入超過額	296,613,473	296,613,473	
翌年度繰越消費収入超過額	178,541,473	241,778,157	

## 貸借対照表

2011年 3月31日まで

学校法人天使学園

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	3,855,120,416	3,267,500,513	587,619,903
有形固定資産	2,473,424,016	2,535,416,113	△61,992,097
土地	438,082,994	438,082,994	0
建物	1,565,145,510	1,618,552,554	△53,407,044
構築物	12,177,421	13,983,559	△1,806,138
教育研究用機器備品	143,653,041	164,051,977	△20,398,936
その他の機器備品	3,831,789	5,025,201	△1,193,412
図書	310,533,261	295,719,828	14,813,433
その他の固定資産	1,381,696,400	732,084,400	649,612,000
流動資産	1,437,660,830	1,881,369,207	△443,708,377
現金預金	1,388,714,536	1,849,523,632	△460,809,096
その他の流動資産	48,946,294	31,845,575	17,100,719
資産の部 合計	5,292,781,246	5,148,869,720	143,911,526
負債の部			
固定負債	273,090,261	261,645,758	11,444,503
退職給与引当金	273,016,261	261,576,758	11,439,503
その他の固定負債	74,000	69,000	5,000
流動負債	661,051,744	640,640,040	20,411,704
前受金	608,300,000	591,170,000	17,130,000
その他の流動負債	52,751,744	49,470,040	3,281,704
負債の部 合計	934,142,005	902,285,798	31,856,207
基本金の部			
第1号基本金	3,880,861,084	3,843,970,449	36,890,635
第2号基本金	130,000,000	0	130,000,000
第3号基本金	20,000,000	20,000,000	0
第4号基本金	86,000,000	86,000,000	0
基本金の部 合計	4,116,861,084	3,949,970,449	166,890,635
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額	241,778,157	296,613,473	△54,835,316
消費収支差額の部 合計	241,778,157	296,613,473	△54,835,316
負債の部基本金の部及び 消費収支差額の部 合計	5,292,781,246	5,148,869,720	143,911,526

## 注記 1. 重要な会計方針

## (1) 引当金の計上基準

## 徴収不能引当金

金銭債権の徴収不能に備えるため、回収可能性を個別に勘案し、徴収不能引当金を計上することとしている。

## 退職給与引当金

期末要支給額321,073,541円を基にして、財団法人私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。

## (2) その他の重要な会計方針

## 預り金その他経過勘定項目に係る収支の表示方法

預り金および仮払金に係る収入と支出は、部門別に相殺表示している。

## 2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

## 3. 減価償却額の累計額の合計額

1,407,052,668円

## 4. 徴収不能引当金の合計額

0円

## 5. 担保に供されている資産の種類及び額

該当なし

## 6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

該当なし

## 7. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

該当なし

財 産 目 録

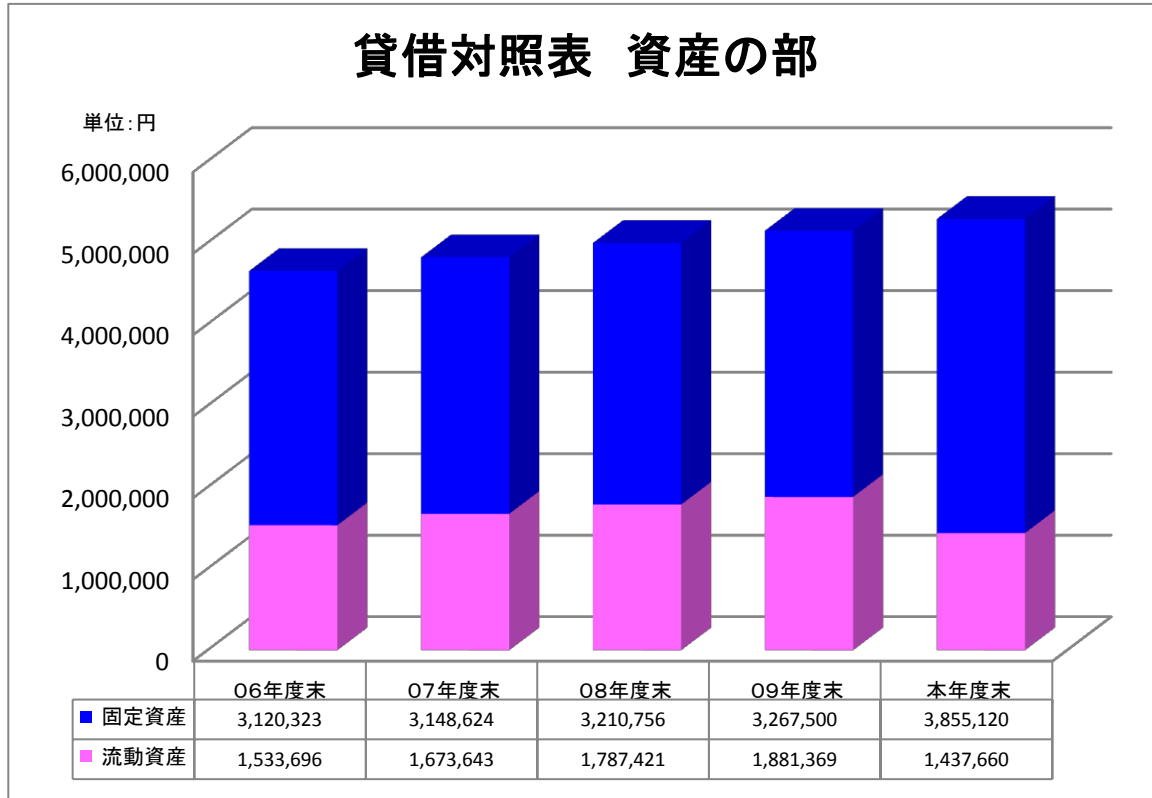
2011年 3月31日現在

学校法人天使学園

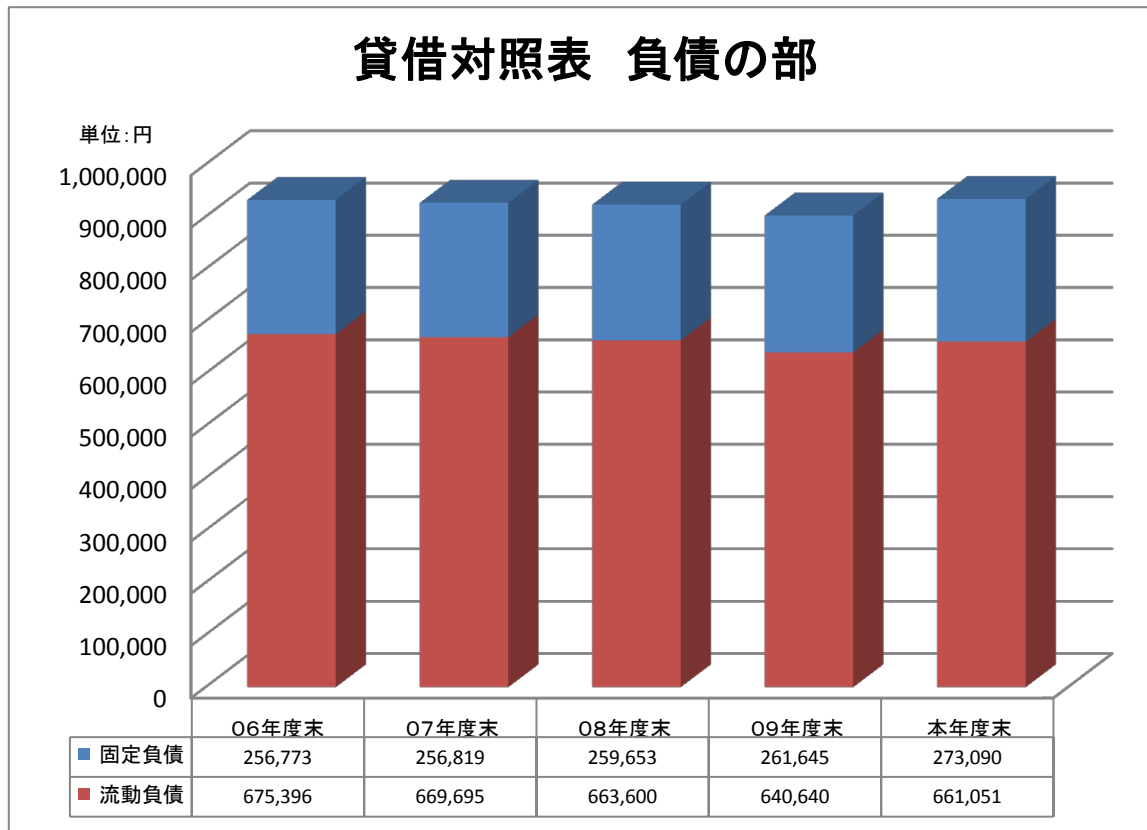
(単位：円)

科 目		金 額		
<b>I 資産の部</b>				
<b>1 基本財産</b>				
(1) 土地	札幌市北13条東3丁目30番73他4筆	30,390.2800㎡	438,082,994	
(2) 建物	1号館鉄筋コンクリート造2階建他9棟	14,124.1713㎡	1,565,145,510	
(3) 構築物	中沼グラント <sup>®</sup> 他32点		12,177,421	
(4) 教育研究用機器備品		1,928点	112,386,210	
(5) 少額重要資産		5,594点	31,266,831	
(6) その他機器備品		285点	3,831,789	
(7) 図書		97,032冊	310,533,261	
(8) 電話加入権			384,400	
	基本財産 計			2,473,808,416
<b>2 運用財産</b>				
(1) 現金預金			1,388,714,536	
(2) 積立金	減価償却引当特定資産他		1,347,950,000	
(3) 未収入金			37,472,574	
(4) 前払金			0	
(5) 仮払金			0	
(6) 長期貸付金			33,362,000	
(7) 短期貸付金			11,473,720	
	運用財産 計			2,818,972,830
	資産の部 合計			5,292,781,246
<b>II 負債の部</b>				
<b>1 固定負債</b>				
(1) 退職給与引当金			273,016,261	
(2) 長期預り金			74,000	
	固定負債 計			273,090,261
<b>2 流動負債</b>				
(1) 未払金			17,495,195	
(2) 前受金			608,300,000	
(3) 預り金			35,256,549	
	流動負債 計			661,051,744
	負債の部 合計			934,142,005
	正味財産			4,358,639,241

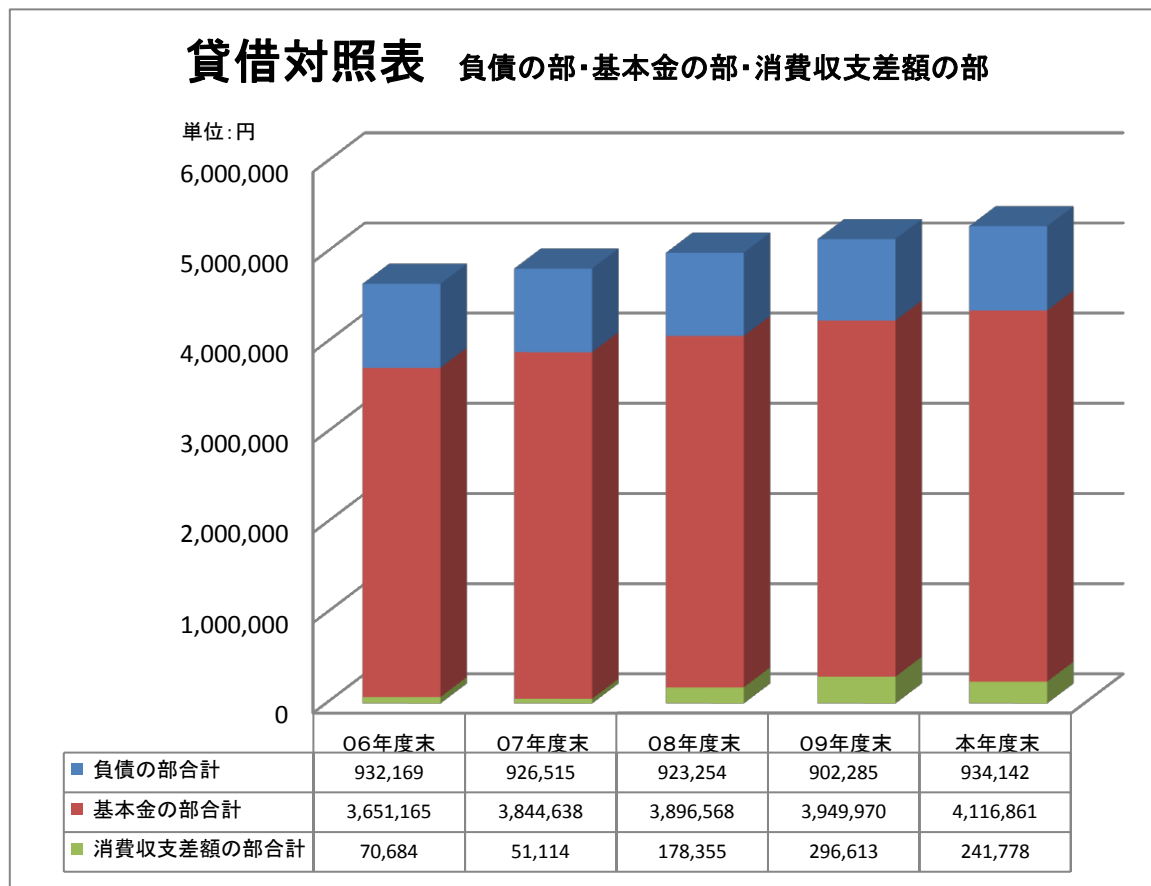
貸借対照表の資産の部における固定資産と流動資産の割合を示すグラフ



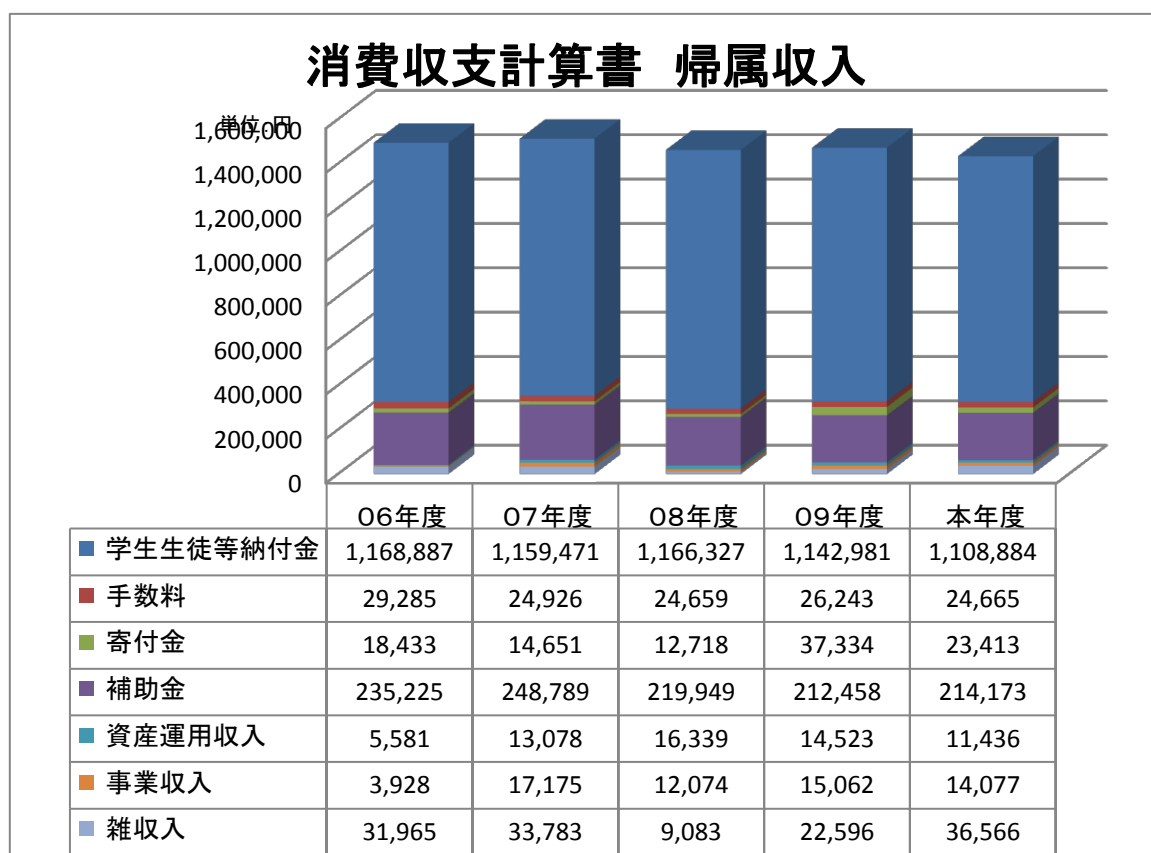
貸借対照表の負債の部における固定負債と流動負債の割合を示すグラフ



貸借対照表における負債の部と基本金の部と消費収支差額の部の割合を示すグラフ



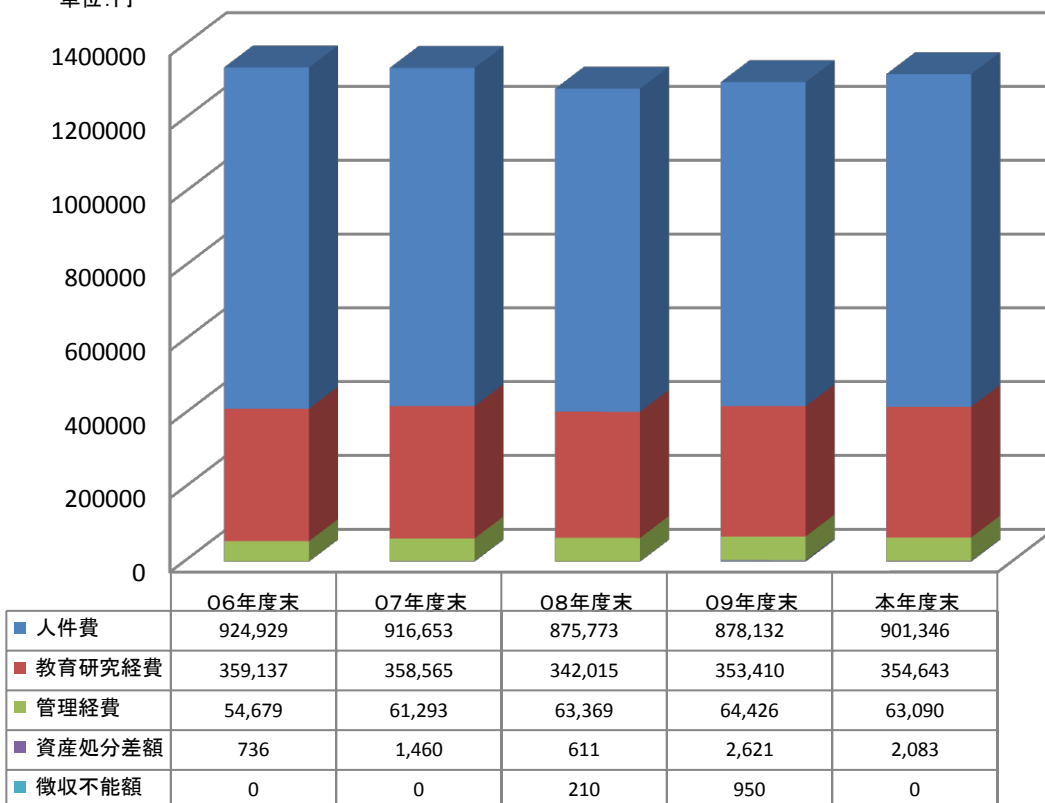
消費収支計算書における帰属収入の内訳を示すグラフ



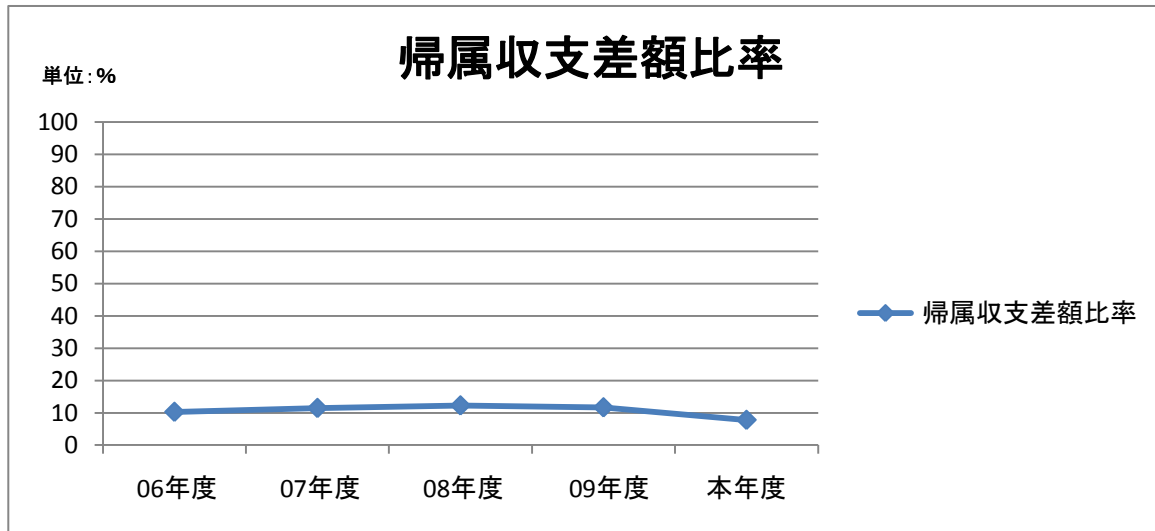
消費収支計算書における消費支出の部の内訳を示すグラフ

## 消費収支計算書 消費支出の部

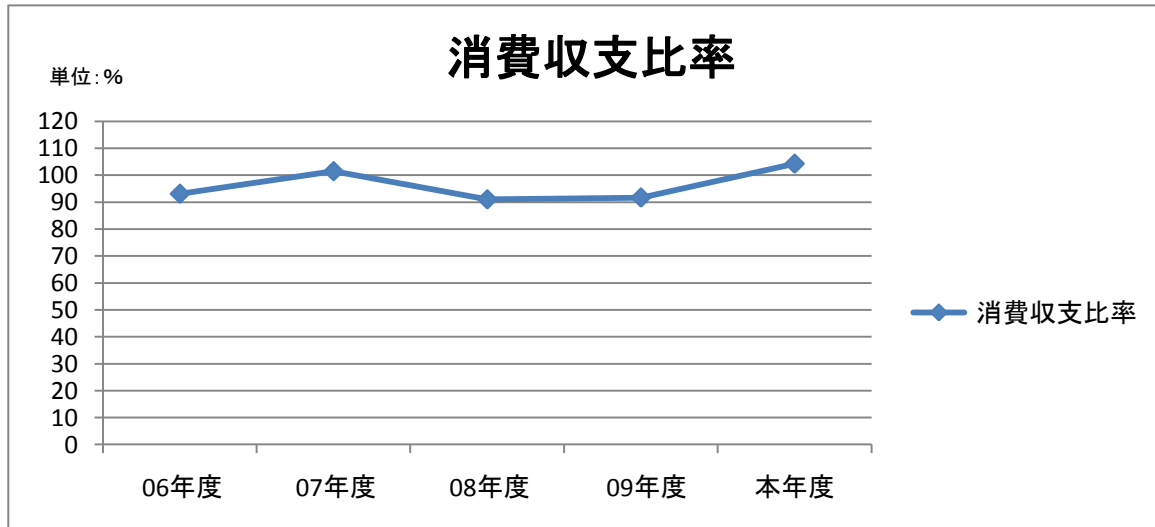
単位：円



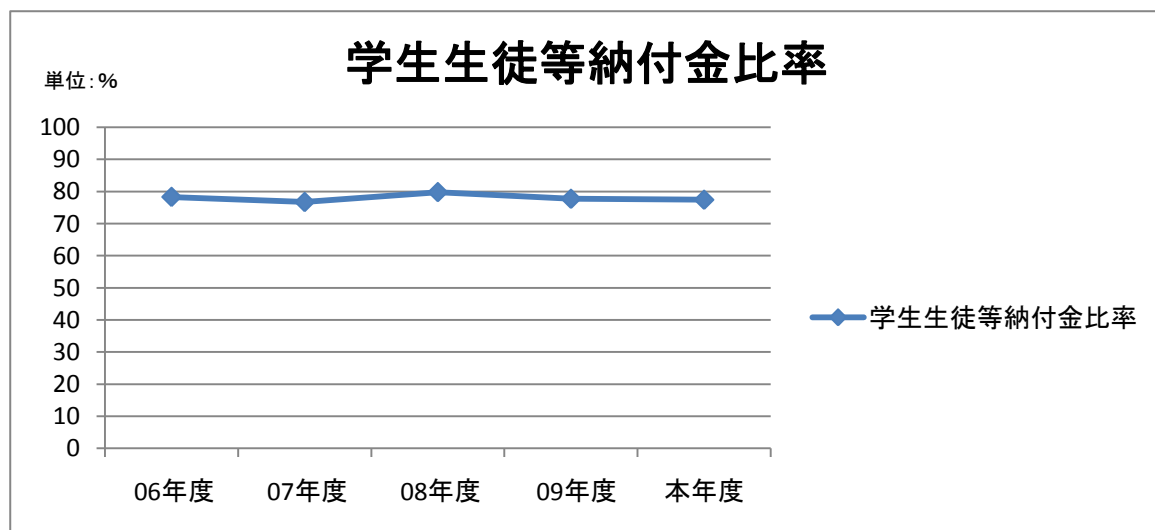
直近5年間の帰属収支差額比率((帰属収入-消費支出)/帰属収入)を示すグラフ〔消費収支計算書関係比率〕



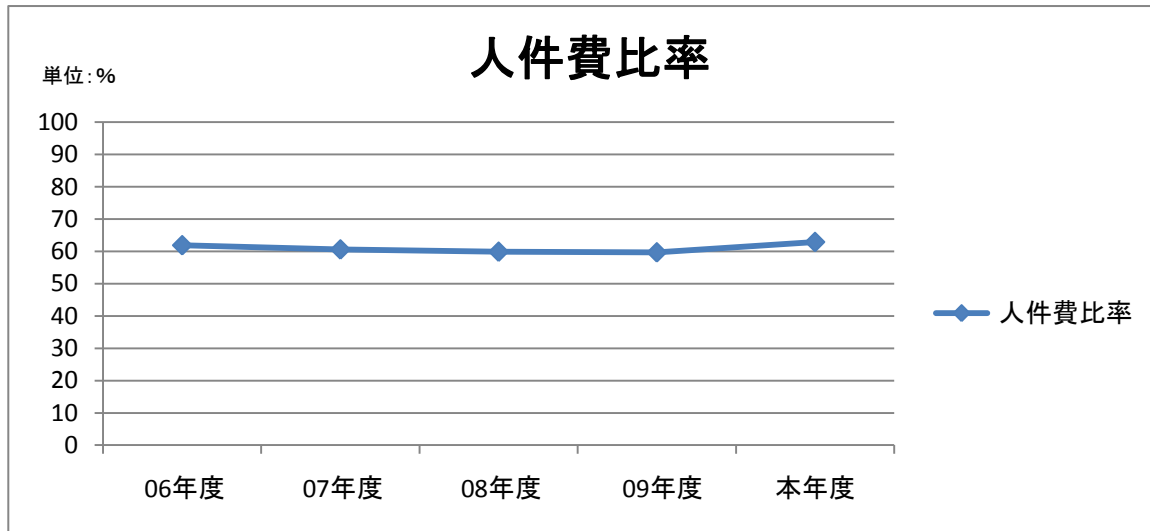
直近5年間の消費収支比率(消費支出/消費収入)を示すグラフ〔消費収支計算書関係比率〕



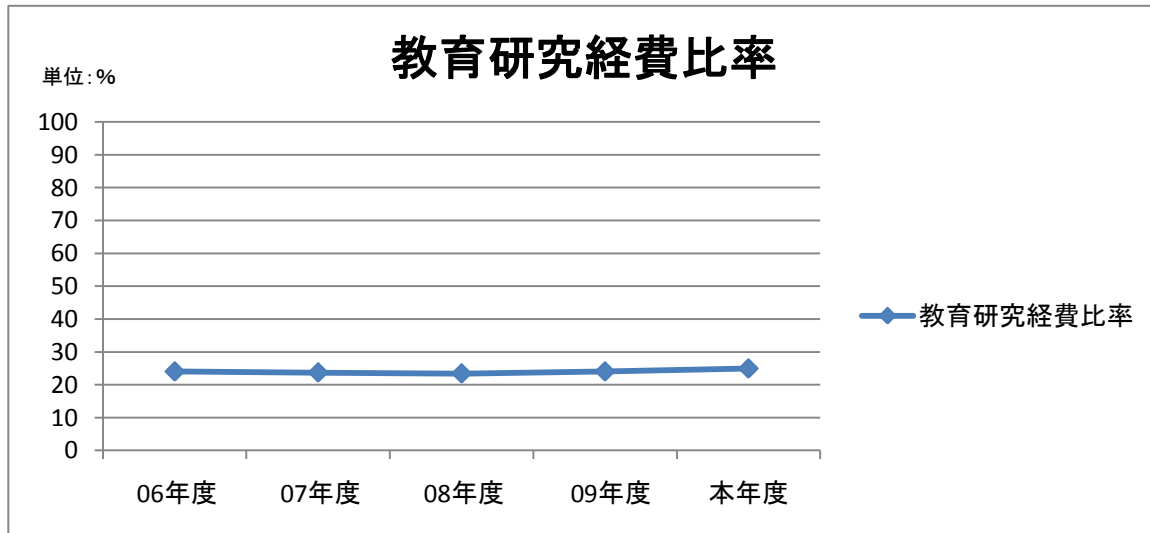
直近5年間の学生生徒等納付金比率(学生生徒等納付金/帰属収入)を示すグラフ〔消費収支計算書関係比率〕



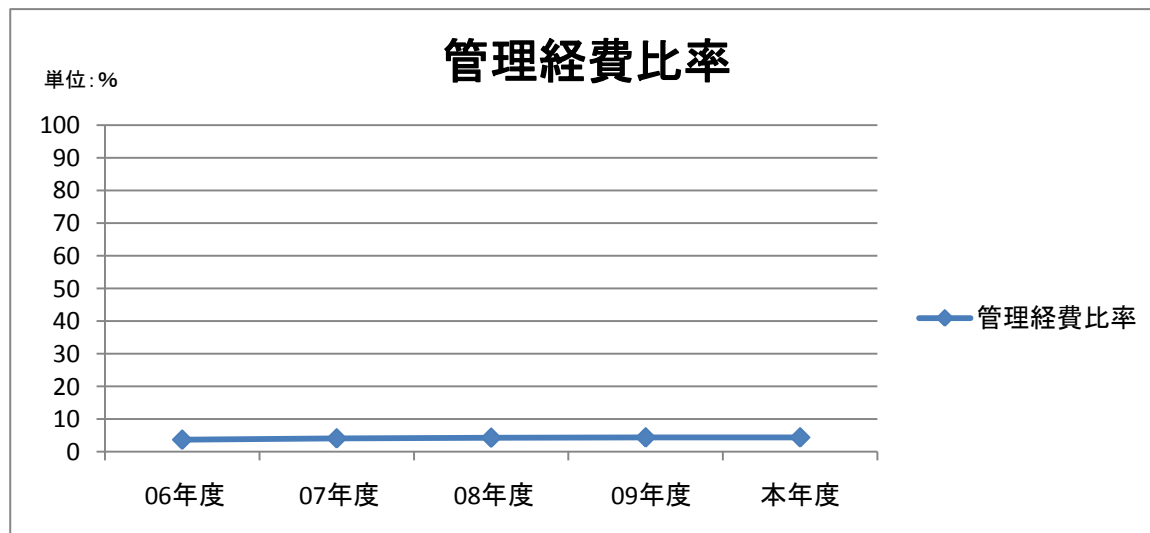
直近5年間人件費比率(人件費/帰属収入)を示すグラフ〔消費収支計算書関係比率〕



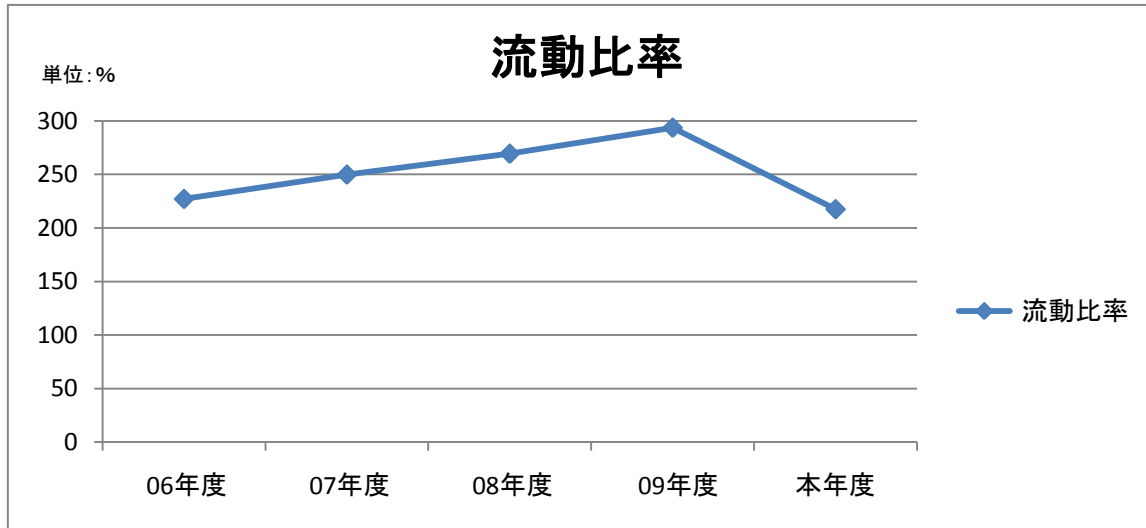
直近5年間の教育研究経費比率(教育研究経費/帰属収入)を示すグラフ〔消費収支計算書関係比率〕



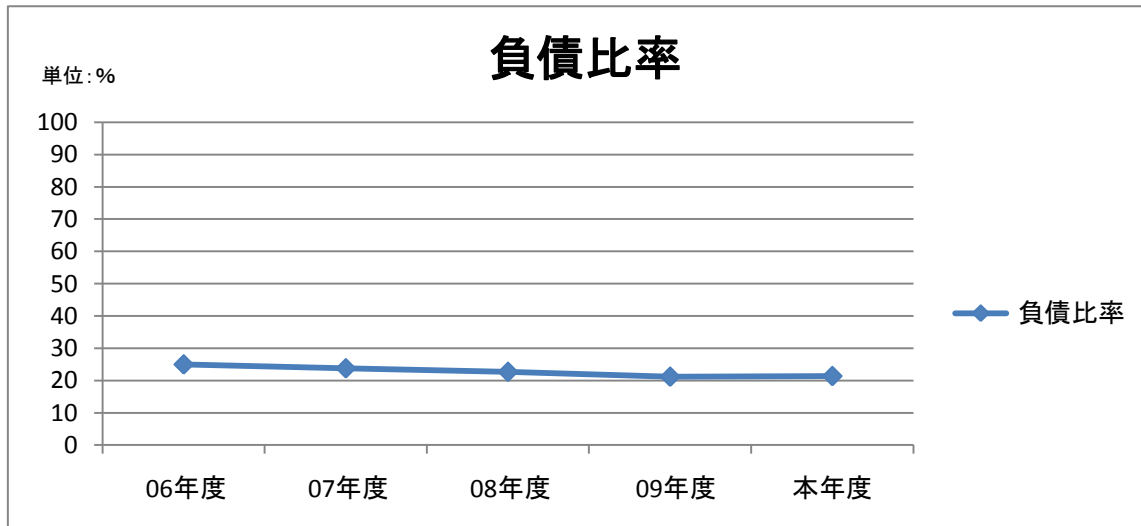
直近5年間の管理経費比率(管理経費/帰属収入)を示すグラフ〔消費収支計算書関係比率〕



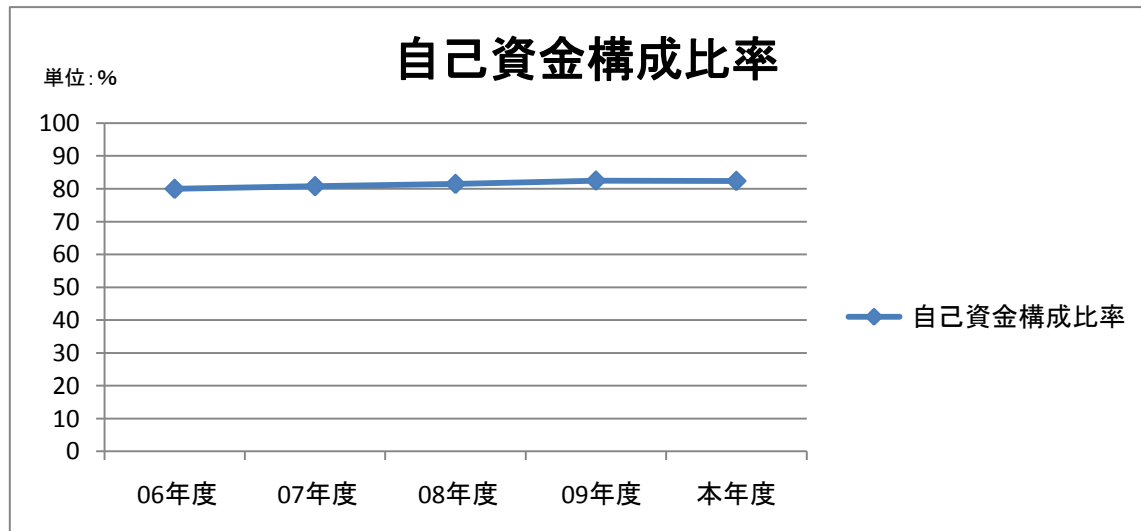
直近5年間の流動比率(流動資産/流動負債)を示すグラフ〔貸借対照表関係比率〕



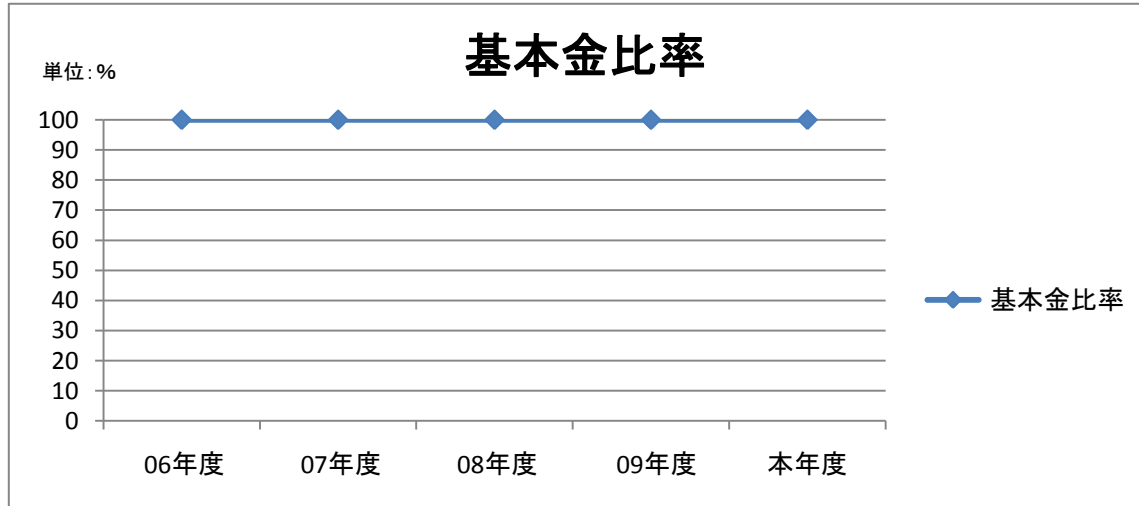
直近5年間の負債比率(総負債/自己資金)を示すグラフ〔貸借対照表関係比率〕



直近5年間の自己資金構成比率(自己資金/総資金)を示すグラフ〔貸借対照表関係比率〕



直近5年間の基本金比率(基本金/基本金要組入額)を示すグラフ〔貸借対照表関係比率〕



# 監 査 報 告 書

2011年5月16日


学校法人 天 使 学 園

理 事 会 御 中


評 議 員 会 御 中

学校法人 天 使 学 園

監 事

富来正博 

監 事

土産田照夫 

私たちは、学校法人天使学園(以下「本法人」)の監事として、私立学校法第37条第3項及び本法人寄付行為第15条の定めに基づいて、2010年度(2010年4月1日から2011年3月31日まで)における本法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

監査にあたっては、財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び付属明細表)、事業報告書並びに重要な決裁書類等の閲覧などを行いました。

財産の状況については、私立学校振興助成法第14条第3項の定めに基づく公認会計士監査に依拠し、その実施状況を検討、併せて監査結果についての意見を聴取いたしました。

監査の結果、本法人の業務並びに財産の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以 上